

スギ花粉、舌下免疫療法

アレルギー免疫療法とは、病因アレルギーを投与していくことにより、アレルギーに曝露された場合に引き起こされる関連症状を緩和する治療法で、アレルギー疾患の自然経過を改善させることが可能な治療法です。数年来スギ花粉舌下液(シダトレン)投与による減感作療法(アレルギー免疫療法)が行われ、スギ花粉症の症状改善と、対症療法である薬物の使用量の減少がみられています。

しかし一方で、この治療は治療期間が長い(スギ花粉非飛散期を含め年単位で継続して施行)、スギ花粉飛散期から投与開始できない、対症療法のように即効性を期待して行うものではない、といった特徴を持ち合わせています。また、副作用として投与開始初期に投与部位(口腔内)に関連した症状発現も時にみられ、またアナフィラキシー等が発現する可能性もあります。

昨年承認されたシダキュア舌下錠がこの5月から長期投与が可能になり、従来のシダトレンに替わり、5歳以上の小児から適応となりました。

令和元年5月からシダキュアによるスギ舌下免疫療法の長期投与(30日)が可能になりました。

シダキュアによる治療の対象は「スギ花粉症」の患者さんです。

毎年スギ花粉飛散期に、くしゃみ、鼻のかゆみ、鼻漏、鼻閉の典型的鼻症状を有し、時として目のかゆみ等の眼症状を伴う場合、スギ花粉症である可能性が高くなります。

対象患者さん

○ スギ花粉症患者(成人及び5歳以上の小児)

治療を受けられない患者さん

- 病因アレルギーがスギ花粉ではない患者
- 重症の気管支喘息患者 [本剤の投与により喘息発作を誘発するおそれがあるため。]
- 悪性腫瘍、または免疫系に影響を及ぼす全身性の疾患(例えば自己免疫疾患、免疫複合体疾患、または免疫不全症等)のある患者

治療に際し注意が必要な患者さん

- 本剤の投与、またはアレルギーエキスによる診断・治療、あるいはスギ花粉を含む食品の摂取等によりアレルギー症状を発現したことがある患者
- 気管支喘息患者
- 高齢者 [65歳以上の高齢者に対する使用経験はないため]
- 妊婦、産婦、授乳婦
- 非選択的β遮断薬服用の患者 [本剤が投与されたときに、本剤による反応(アレルギー反応)が強くあらわれることがあるため。]
- 全身性ステロイド薬投与の患者
- スギ花粉以外のアレルギーに対しても反応性が高い(特異的IgE抗体値が高い)スギ花粉症患者

ハウスダスト1、ハウスダスト2、コナヒョウヒダニ、ヤケヒョウヒダニ、アスペルギルス、アルテルナリア及びカンジダに対する特異的IgE抗体検査ですれかがClass 5以上の患者は対象から除外されていました。

舌下免疫療法を希望される方は医師にご相談下さい。